

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ちびっこタイム品川		
○保護者評価実施期間	2026年2月13日		～ 2026年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2026年2月13日		～ 2026年3月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心して楽しく過ごせること	子どもたち一人一人の思いを大切にしながら関わっています。安全に過ごせるよう、決まりはありながらも、子どもたちの目線に立って、職員と一緒に楽しむことを大切にしています。また、年度の終わりには子どもたちが好きだった課題を取り入れる等、子どもの思いを十分受け止めるよう、心掛けています。楽しかったという経験が子どもたちの成長を促すポイントであると考えています。	子どもたちの発達や特性の理解が、子どもたちが安心して過ごす上での基礎となります。職員が十分に学ぶことだけでなく、保護者の皆さんが子育てしやすいよう、ともに子どもを理解して、一緒に成長を促すことができるよう、面談や見学、保育園等の訪問などの支援も充実させていきます。
2	様々な専門職が連携して支援ができること	保育士、心理士、理学療法士、介護福祉士など、様々な職種があり、それぞれが専門性を生かしながら日々の支援にあたっています。担当者会議への参加などを通して、一人一人に合った支援を検討、共有しています。	今年度も年に数回、作業療法士による現場の研修が行われます。外部の専門家の視点も入れながら、より開かれた施設にしていきたいと考えています。
3	児童発達支援と放課後等デイサービスの交流会や卒業生、他事業所とのつながり	昨年度より放デイ、児発合同の父の会、移動駄菓子屋を招いてのきょうだい児やご家族同士の交流会を開催しました。また卒業生の保護者を招いての就学相談会や法人内のGHの管理者を招いてのグループホームの説明会など、様々な情報共有の機会を作っています。	父の会などは、保護者の皆様の意見から生まれた新しい交流会です。引き続き、保護者の皆様からの意見をいただきながら、必要な情報を提供できるよう、また、保護者様同士の交流が生まれるような機会をつくり、子育てをサポートしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因など	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	虐待や安全管理などのマニュアル、避難訓練の実施状況を周知していくこと	マニュアルは整備し、事業所内玄関に閲覧可能な状態にしています。また避難訓練に関しては、月のスケジュールの中に記載していますが、周知が十分にできていなかったと考えています。	保護者会の際に、こちらで作成しているマニュアル等をお示ししたいと思っています。また、避難訓練に関しましては、実施状況を連絡帳に記入するなどを通して、保護者の皆様に周知していきたいと思います。
2	地域の子どもの交流機会	事業所として、地域の子どもたちと交流する機会はコロナ以降、設定できていません。障害者作品展の出展や品川防災館の利用、バス訓練などを通して、地域の資源を使った療育を取り入れていきました。	職員が保育園や幼稚園等に積極的に訪問することを通して、ちびっこタイムを利用されるお様が地域で過ごしやすいよう、サポートしていきたいと思います。
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ちびっこタイム品川

公表日 2026年4月30日

利用児童数

26名

回収数

24名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	1	0	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	0	0	1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	3	0	1		施設には階段や段差もあり、バリアフリーとは言えない部分もありますが、安全に過ごせるよう、工夫していきたいと思っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	0	0	2	・子どものささいな変化・成長も見逃さずしっかり見守り、対応して下さっていると思います。 ・とてもしっかりと見て下さっていて、適切な支援が受けられていると感じます。	日々の体調の変化にも気を配りながら引き続き支援をしていきたいと思っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	0	0	1		支援プログラムは法人のホームページにも公表していますので、ぜひご覧ください。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	0	0	1	・保護者の意見もしっかり聞いて作成して下さっています。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	1	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1	0	2	・他の事業所に比べ色々な取り組みをして頂いていると思います。 ・新しいアスレチックが取り入れられたり、音楽（楽器）に触れたり、外出したり、刺激になっていると思います。	来年度も引き続き、様々なプログラムを検討していきたいと思っています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	12	1	5	6		現状、保育園との交流はありませんが、外出の機会をつくり、地域の中で活動する時間を設けています。
保 護	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	0	0	1	・限られた人員の中で大変なことと思いますが、精力的な活動を行っていただいております。このような園にお世話になることが出来て幸甚と思います。 ・土曜日のイベントは、“生”の情報をただけて有難いです。アプリでのやりとりでも励まされています。	今年度は希望される保護者の方には、療育中のお子さんの様子も見ていただきました。引き続き、ご家族が支援の様子を見ることが出来る機会を設定することを通して、必要な情報共有や、情報提供をしていきたいと思っています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	22	2	0	0	・日々の連絡帳に、子どもの様子を詳細に書いて下さり、とてもありがたいです。 ・日々のアプリで細かく様子を教えて下さるので、ありがたいです。 ・療育での子どもの様子がとても伝わりやすい、分かりやすいです。	

者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	0	0	0	・親身に話を聞いて頂いています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	0	0	1	・親身に話を聞いて頂いています。 ・交流する機会があると大変感謝しています！	今年度は児発と放デイの保護者様同士の交流の機会を作っていました。父の会やきょうだいを招いての駄菓子屋イベントなどたくさんのご家族に参加していただき感謝しています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	0	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	0	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	2	0	5		マニュアル等の周知が十分でなかったかもしれませんが。事業所にはマニュアルは整備されていますので、保護者会などの際に、閲覧できるようにしていきたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	0	0	5		毎月のスケジュールに避難訓練の予定を掲載しています。ぜひご確認ください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	1	0	3		安全計画を設置しています。お越しの際にぜひご確認ください。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1	0	5	・何かアザや傷を見付けると、すぐに確認して下さいます。	けがや事故などが発生した際には、より迅速な連絡や説明を心掛けていきたいと思っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	0	0	0	・とても楽しそうな様子です。親も安心します。	引き続き、ちびっこタイムが子どもたちにとって安心できる場所であるよう、職員一同支援にあたっていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	0	0	1	・とても楽しそうです。いつも笑顔の写真が連絡帳で送られてくるので、楽しみに見えています。	楽しい経験を通して子どもたちの成長のサポートをしていきたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	0	0	0	・いつもありがとうございます。 ・ずっと通い続けたいくらい満足しています！	ありがとうございます。ご意見など頂戴しながらより良い施設になるよう、努めていきます。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ちびっこタイム品川		2026年4月30日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・広いスペースでのびのび活動できている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	・専門職もおり、充実している。 ・スタッフ同士声をかけ合うようにしています。	・療育的介入を深めるとスタッフ数が足りないように感じることもあります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	・1、2Fを使用でき、用途で使い分けができている。 ・階段使用があるので声をかけ合いながらやっています	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	・非常勤の職員さんが丁寧に清掃してくれている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	・面談室や静養室など職員が付き添いながら使用できる。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	・日々ふりかえりを十分できている。 ・日々の振り返りやケース会議などで定期的に考えられています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・全体で共有し、次年度につなげている。	昨年度の評価を受けて、きょうだい児が参加する交流会を企画しました。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・職員会議・リーダー会議・職員面談などで話す機会を作っている。 ・日頃から話しやすい風土があり、提案などもしやすい環境です。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	・結果をリーダー会議で共有し、できることから改善している。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・非常勤の職員も希望があれば積極的に参加してもらっている。 ・法人内外での研修に時間が許す限り参加させてもらっています。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	・毎年、更新のタイミングで保護者の思いを確認している。 ・保護者の方との面談での聞き取りに加え、新年度には細かな内容についてチェックリストなどで聞き取り反映しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・担当者会議の中でも個別支援計画に則って話をすすめている	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・都度、必要に応じて目標を声掛けしながら取り組んでいる	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	・心理士の個別もあり十分アセスメントを活用している。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		

の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・毎月、職員で意見を出して決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	・個別の回数もこどもの状況に合わせてかえている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・記録の量は多いですが、その分支援の内容を詳しく思い出すことができる。	職員の過度な負担にならないよう、必要な記録、書類を都度見直していきたいとします。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・保育園や相談支援事業所と訪問や電話で頻りにやり取りしている。 ・保育園や幼稚園への見学も必要に応じて行い、情報共有しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・利用児が在籍の保育園や幼稚園で過ごしやすくなるよう、助言・訪問などしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・交流会を通して、OBの方々を招き、就学や就労についての情報を提供しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1	・そのような経験がないです。 ・今年は外部のOTの講師にも来てもらい専門性の高いアドバイスをもらえた。	地域の児童発達センターで行われる研修に参加していききました。また今年度は、品川福祉カレッジの参加を通して、外部の専門家からの指導を受ける機会もいただくことができました。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	・区の施設を利用したり、地域の作品展に出席するなどしている。 ・交流会できょうだい児や利用児同士、また親も含め交流しています。	保育所等との交流は現在行っていませんが、それぞれのお子さんが在籍する幼稚園や保育園にできる限り訪問するようにしていききました。地域の中で子どもたちがいきいきと過ごせるよう、サポートしていきたいと思っています。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	・面談で伝えている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・日々の連絡帳でのやりとり、送迎時、面談などで相談にのったり助言をしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0		
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0	・法人として行っている。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0		